

とれいん とれいん

63 回目の終戦記念日を迎えて

2008/08/15 東海労神領分会

今日8月15日、63目の終戦記念日を迎える。

8月になると、新聞各紙マスコミ等戦争特集が企画される。どれも最後は戦争のおろかさを強調して締めくくられています。

『歴史は自ら語りません。歴史から学ぼうとしている者に語りかけるようです。終戦記念日は辛い歴史と向き合うべき日であります。』H20.8/15 中日新聞朝刊の社説の冒頭です。

戦争は、いつももっともらしい理屈をつけて始められます。

いま私たちのまわりでも「国際貢献」、「テロとの戦い」とか最近ではそのような言葉が目につきます。そして多くの人々はその言葉に戦争の正当性に疑問を抱きません。

真実を語る、真実を知る、ことの重要性が私たちにいま問われています。

数年前の小泉ブームという訳のわからないブームにより、日本は着実に大きくその方向を変えました。そのブームの一翼を担った人達に同じ過ちを犯す危機感を感じます。

ビラを配布しただけで、逮捕され有罪になり、正当な労働組合活動が強要罪になり、やってもいない窃盗で解雇されるなど、私たちの周りで確実におかしなことが起きています。

私たちはあらゆる戦争政策、戦争に反対しています。これは歴史から学んでいるからです。冒頭紹介した社説のように学ぼうとしている者に語りかけてくれます。

歴史の真実は残念ながら何十年もかけないと明らかにされないことが多くあります。

そうならないため、歴史の学ぼうとしない人達とこれからも闘います。

戦争の犠牲者は私たちですから・・・

2008/08/15 63回終戦記念日に